

令和5年度 函南町立丹那小学校 グランドデザイン

国：生きる力の育成 県：有徳の人の育成 町：豊かな感性と「生きる力」をもつ子供の育成	校 訓： 何くそ やりぬくぞ 学校教育目標： 挑戦 つながる笑顔 丹那の子 【重点目標】 ○課題を見つけ解決に向けてねばり強く試行錯誤を繰り返す子 ○丹那の人、もの、ことと関わりをもち丹那に誇りと愛着をもつ子 【学校経営目標】 ○子供が自主的・主体的に学び活動する学校 ○子供が自他のよさを知り他者から認められ、安心して生活できる学校
評価の最重点項目	◎学校の活動に、めあてをもって挑戦している。(児A評価：60%以上) ◎楽しい学校生活を送っている。(児A評価：70%以上) ◎学級や学校をよくするために進んで発言した。(児A評価：60%以上) ◎学校は保護者からの質問や要望に適切に対応している。(保A評価：60%以上)

【学習指導・生活指導】

- ◎主体的・対話的で深い学びの推進
- ◎個別最適な学びの推進
- ◎共感的な人間関係を育む授業の推進
- ＜学習に進んで取り組む＞(児童A:60%以上)
- ＜縦割り活動で進んで協力する＞(75%以上)
- ◎児童と共に考えつくる生活の約束
- ◎自他のよさを認め合う温かい人間関係づくり
- ＜いじめ・不登校ゼロの継続＞＜挨拶が自分からできている＞(児童A:60%以上)

【校内研修の推進】

- ◎テーマ「主体的に学び、学び合う子供の育成」
- 個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指すICTの活用
- 県研究指定R5・6年度「誰一人取り残さない教育」の実現にむけた授業づくり、学級づくり調査研究
- ＜少人数のよさを生かした主体的な学びの視点に立った授業改善＞
- (教員A:70%以上)

【学校運営】

- ◎子供が主体となる学校づくり
- 子供がつくる授業・意見表明の機会
- ◎誰にも居場所のある教育課程編成
- ・四つのミッション達成を軸にした教育計画(オール丹那の共有体験)
- ・教育の質と効果を高める業務改善と働き方改革
- ◎SSW(町教育支援センター)との連携
- ＜PDCAサイクルを意識し、教育活動をその都度見直している＞(教員A:70%以上)
- ＜重大事故ゼロ・不祥事ゼロの継続＞
- ＜働き方改革・業務改善の推進＞

③ ① 子供を育成する四つのミッション

丹那の恵に感謝「自給自足DAY」 ② 地域・幼小連携の「オール丹那運動会」

④ 感謝の心と表現力の向上を示す「ありがとうの会」

＜コミュニティスクールとしての教育活動＞

- ◎CS オール丹那会議(学校運営協議会)を軸とした地域に開かれた学校づくり
- ◎地域の一員として参画できる児童の育成
- ◎地域の人材、教材を生かした学校づくり
- ◎学校・学級便り、HP等による情報発信
- ◎地域住民への教育活動参画依頼と募集
- ◎地域住民による学校支援活動
- ＜地域の方や魅力的な丹那の素材との交流を生かした学びの創造＞(保護者A:60%以上)

＜小規模特認校としての特色ある教育活動＞

- ◎教科指導の充実
 - ・教科担任制の推進(理科、音楽、図工、体育、外国語等)
 - ・英語の日常化(外国語活動で低学年10時間の授業・他教科でのALTの活用)
 - ・学習の個性化を図るルーブリックの活用
 - ・プログラミングの系統的な指導
 - ・異年齢集団での学び・探究活動
- ◎豊かな自然環境を生かした本物の体験活動
 - ・農協、地域人材を活用した食農体験
 - ・校内産の野菜果実を使用した給食
 - ・地元観光施設を活用した酪農体験
 - ・丹那を学ぶ活動(ジオ学習、歴史)
- ◎豊かな交流活動
 - ・自主性、社会性を育成する縦割り活動
 - ・他校園との交流(桑村小学校、海の学校、丹那幼稚園)
 - ・地域人材との交流(授業、クラブ活動、読み聞かせ等)
- ◎子供の意見表明の場の充実
- ＜交流活動は役に立つ＞(児童A:70%以上)
- ＜縦割り活動で協力する＞(児童A:75%以上)

【児童の実態】 ◎強み ●弱み △育ちつつある

- ◎友達や異年齢のなかまと仲良くできる
- ◎きまりを守る
- 試行錯誤を繰り返して粘り強く取り組む
- 読書を楽しむ
- △学習に自分から取り組む
- △めあてをもって活動に取り組む